

神奈川県立二俣川看護福祉高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	二俣川看護福祉高校 学校運営協議会（第3回）		
開催日時	平成31年3月4日（月）午後1時～3時30分		
開催場所	二俣川看護福祉高校 会議室		
（役職名） 出席者 〔敬称略〕	（会長） 師岡健一（校長） （副会長） 宮崎裕充（PTA会長） （委員） 齊木由紀子（県立よこはま看護専門学校 校長） 引地孝一（神奈川新聞厚生文化事業団 監事） 大竹雅人（日本赤十字社神奈川県支部事業部長） 柏木真里子（鶴巻温泉病院 看護部副看護部長） 鈴木由香里（横浜市立中尾小学校 校長） 入江陽子（同窓会長 医療法人社団孝和会介護老人保健施設能見台パトリア 看護介護部部長） （事務局） 宮地妃佐子（副校長） 米山貴之（教頭） 森公美子（総括教諭） 後藤志津子（総括教諭） 玉木尚史（総括教諭） 佐藤文高（総括教諭） 金澤佳子（総括教諭） 杉山道代（教諭） 野田彩（教諭）		
次回開催予定日	平成31年6月21日（金）		
問合せ先	二俣川看護福祉高校 宮地妃佐子（副校長） 電話番号 045-391-6165（代表） ファックス番号 045-361-9777		
下欄に掲載するもの	・ 議事録		
審議(会議)経過	第2回評価部会 1 校長挨拶 2 学校評価について (1)看護科・福祉科より 資料②参照 (看護科) ・ H30 見学実習を増やした(今宿ホーム・血液センター) ・ 2年実習先平和病院来年度よりなし ・ 外の実習を変えていこうと考えている (福祉科) ・ 2年生夏同行訪問実習受け入れ先が20名分足りない理由として、介護度高い、人手不足 ・ 1年生保育園訪問実習実施、来年度も実施予定 ・ 施設実習は様々な施設から声をかけていただいている		

(2)学校評価報告 資料①参照

1. 教育課程学習指導

- ・福祉科から看護系へ進学する生徒が多いのはなぜか
⇒看護師を目指しながら福祉科に入学しているものと2年次の実習を経験して看護を目指すようになったものがある
- ・インターネット環境の整備が課題
- ・経費について、保護者の賛否はどうなっているのか
⇒アンケートは取っていないが、特に指摘ない
- ・Classiを継続的に使い、効果を見ていく必要がある
- ・Classiにより教員の負担が減ったのか
- ・②について情報の提供をさらに継続していく必要あり

2. 生徒指導・支援

- ・SNSやLINEについての指導はどうなっているのか
- ・いじめを受けたが相談できない生徒への対応が課題、生徒に寄り添う必要性
- ・生徒の情報共有どのように行っているのか
- ・自分と考えの違う人とどのように向き合うのか指導する必要がある
- ・想像力の欠如や認識不足を評価できれば(痛みや苦しみ)
- ・遅刻カードの効果として、ルールを守る意識付けと遅刻する人の傾向をつかむことの2つがある
- ・他者を思いやる気持ちが昨今低い
- ・相談先の情報提供を
- ・②について、いじめ認知件数が増加したのは、今まで見えてこなかったものが見えてきた証拠

3. 進路指導・支援

- ・文章力が身につけていない社会人が多い。文章力、伝える作業の練習を
- ・卒業生による進路相談会について、卒業生の情報はすごく大事なあたりまで卒業生とするか、就職している卒業生の話も有益
- ・卒業生を追いかけることが大事(就職先)
- ・ボランティアで得た学びを共有する機会を

4. 地域等との協働

- ・災害に目を向けている
- ・実習中の災害について管理を(専門学校では対応異なる)
- ・避難所となった場合の生徒のボランティア活動の可能性を
- ・学校で想定される危険について議論したほうがいい
- ・どのようなリスクを抱えているのか検討の必要があるだろう

5. 学校管理学校運営

- ・事故防止会議10回以上の開催は評価できる、継続を。
- ・事故が起こったときどうするか、あらゆる事故を想定し、タイムリーな対応を。
- ・事故をどこにでも起こりうるものと肝に銘じる
- ・生徒の安心安全は大切だが、職員の安心安全も大切

- ・教職員のコミュニケーション、情報共有が重要

第3回学校運営協議会

1 校長あいさつ

- ・工事(2月～)
- ・資料⑩学校の取り組みについて
- ・資料⑪高校改革について

2 学校評価部会報告

第2回 二俣川看護福祉高校 評価部会内容と同様

3 その他

〈事務連絡〉

- ・平成31年度学校運営協議会及び部会の日程について(予定)

第1回	6月21日(金)	午後3時～5時
第2回	10月25日(金)	午後3時～5時
第3回	3月3日(火)	午後1時～3時30分
- ・委員の任期等について

第2回キャリア教育部会

1 今年度の活動について

- ・キャリア教育の状況について説明

2 来年度の活動について

- ・経済的状況により、進路変更を余儀なくされる生徒への進学機会、情報提供、模擬試験等の充実
- ・「生きる力、学ぶ力の育成」

3 その他

第2回地域連携部会

1 今年度の活動について

- ・防災の講話が好評だった
- ・中尾小での防犯教室が好評だった

2 来年度の活動について

- ・部活動と小学校等の地域の連携をしていきたい
- ・赤十字が行っている救護訓練で傷病者役での参加で連携できないか

3 その他

- ・自治会は高齢の役員が多く、現在若い人に変わりつつある。
- ・地域が連携した防災訓練の方法を出し合っていきたい

<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 30 年度学校評価報告書（別途送付済） ②看護科資料（教育課程・臨地実習予定一覧・臨地実習生徒感想文） 福祉科資料（教育課程・施設実習施設一覧・生徒感想・外部講師授業） ③学事情報 G 「第 2 回生徒による授業評価の実施結果について」 「55 回生 Classi 活用報告」 ④生徒支援 G 「平成 30 年度生徒指導実施報告」 「学校生活のアンケート 第 2 回」 「教育相談チーム活動報告」 「平成 30 年度地域貢献活動実施報告」 「平成 30 年度学校保健委員会次第」 ⑤進路支援 G 53 回生 進路状況中間報告〈看護科〉〈福祉科〉 53 回生 卒業にあたってのアンケート ⑥総務広報 G 広報関連資料「学校説明会参加者人数表」 ホームページ関連資料「2018 年度 HP 更新記録回数と内容」「閲覧数」 P T A 広報誌 Hand in Hand 101 号 ⑦地域等との協働「「学校へ行こう週間」実施要綱」 「第 22 回 赤十字救急法協議会」 「今宿ホーム ちょこっと通信」 「サニーヒル横浜だより」 「防災訓練 実施要綱」7 月 19 日、10 月 11 日 「シェイクアウト訓練（一斉防災行動訓練）について」7 月 19 日 ⑧学校管理・学校運営 「平成 30 年度二俣川看護福祉高等学校不祥事ゼロプログラム」の検証等 ⑨「二俣川看護福祉高等学校における学校運営協議会（第 2 回）開催結果」 ⑩「二俣川看護福祉高等学校 学校の取組の概要」9 月～3 月 ⑪「神奈川県教育委員会 県立高校改革実施計画（Ⅱ期）」（平成 30 年 10 月）
-------------	---